



私は、いけばなの家に生まれました。家元である母方の祖父には男の子がいなかったため、3歳の時に養子に入り、次期家元として育てられました。小さなころ、花の修行は嫌じゃなかったのかとよく聞かれますが、実際に花を習っていたのは週1回だけで、幼なじみや妹弟と一緒に稽古。母がボール紙に実寸で絵を描いてくれて、その長さに花を切りいけました。いけばなもプラモデルと一緒に、設計図通りに組み立てるのです。花は遊び道具の一つでした。

秘すれば花なり、秘せずば花なるべからず。これは、世阿弥の『風姿花伝』にある言葉です。趣向を変化させ、しかもそれを悟らせないことが観客を楽しませるコツであるという、能楽師に伝えられた戦略。いけばなも、日本人が古来研究を続け培ってきた花を美しく見せるための技です。私が小さなころから接してきた家元や高弟の先生方から学んだ技法、そして花に対する想いをご紹介します。

(未生流笹岡ホームページ <http://www.kadou.net>)

日時と場所	平成17年10月27日（木曜日） 18時15分～19時45分（開場17時30分） 京都大学百周年時計台記念館 百周年記念ホール
参加費用	無料
定員	先着500名
対象	学生・教職員及び一般の方々
申し込み	当ページ申込フォームまたは往復はがきにて下記までお申し込みください。 なお、往復はがきによる申し込みについては、「第17回未来フォーラム参加」と明記の上、住所、氏名、年齢、職業、連絡先を記入し、返信はがきには、必ずご自身の宛先を記入してください。
問い合わせ先	〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学百周年時計台記念館事務室 TEL 075-753-2285（月～金曜日 9時00分～17時00分） http://www.kyoto-u.ac.jp/top2/11-top.htm E-mail: kinen52@mail.adm.kyoto-u.ac.jp